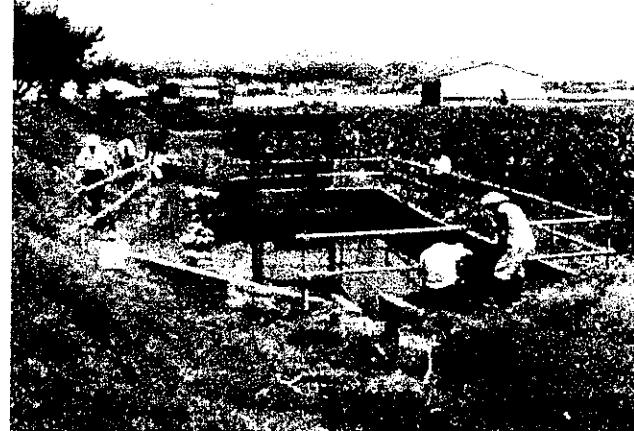


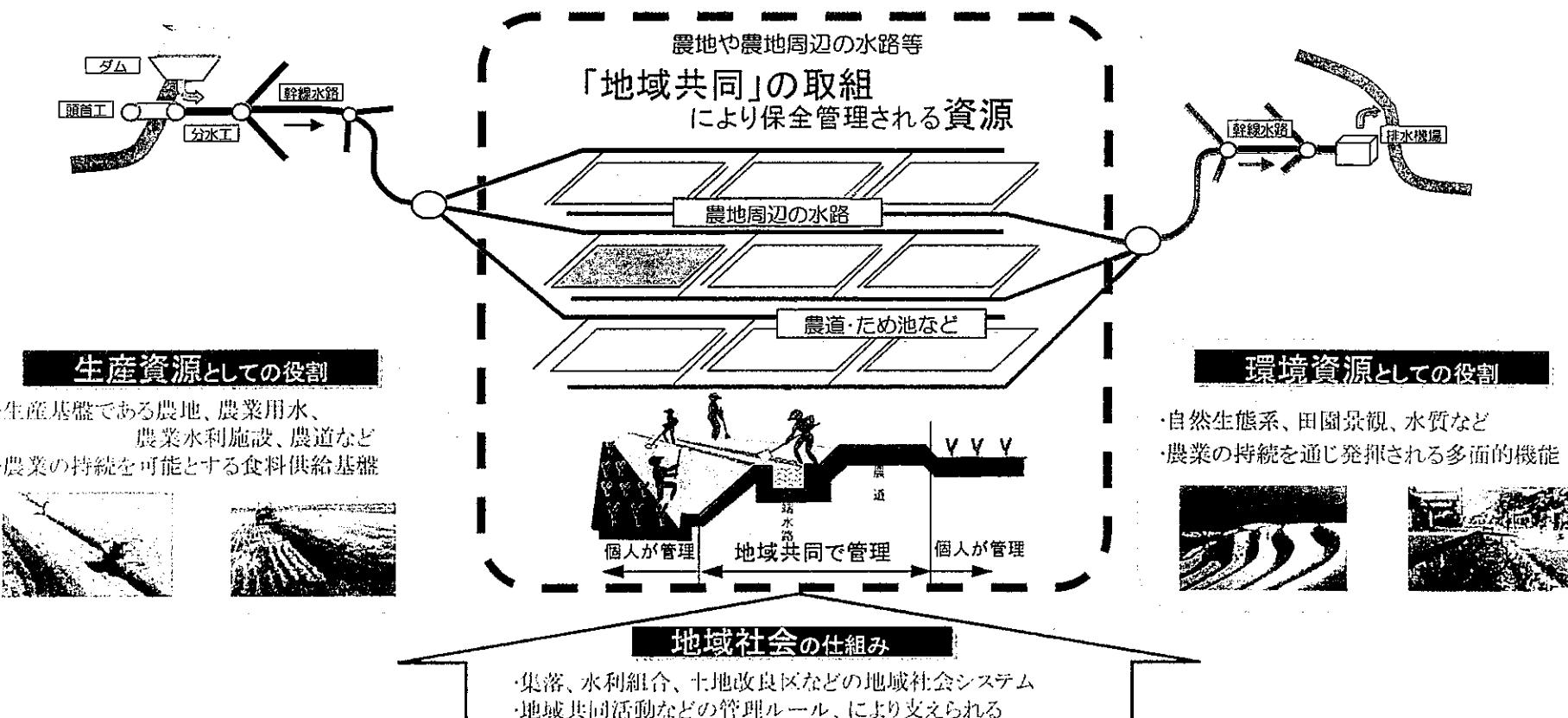
農地・水・環境保全向上対策について



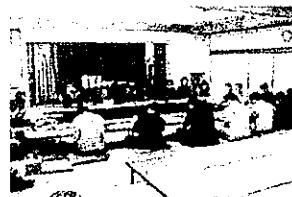
農林水産省 農村振興局

基本的な考え方

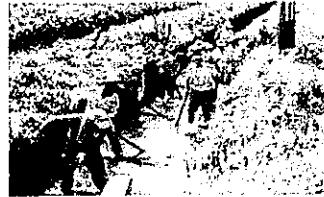
- 農地・農業用水等の資源は、食料の安定供給、農業の多面的機能の発揮を支える「社会共通資本」。
- とくに、農地や農地周辺の水路、農道などの資源の多くは、これまで集落など地域の共同活動により保全管理。
- 近年の集落機能の低下により地域共同活動が衰え、力強い農業構造の実現や活力ある農村の振興に支障。



山寄合い



江ざらい（水路）



道普請



草刈り



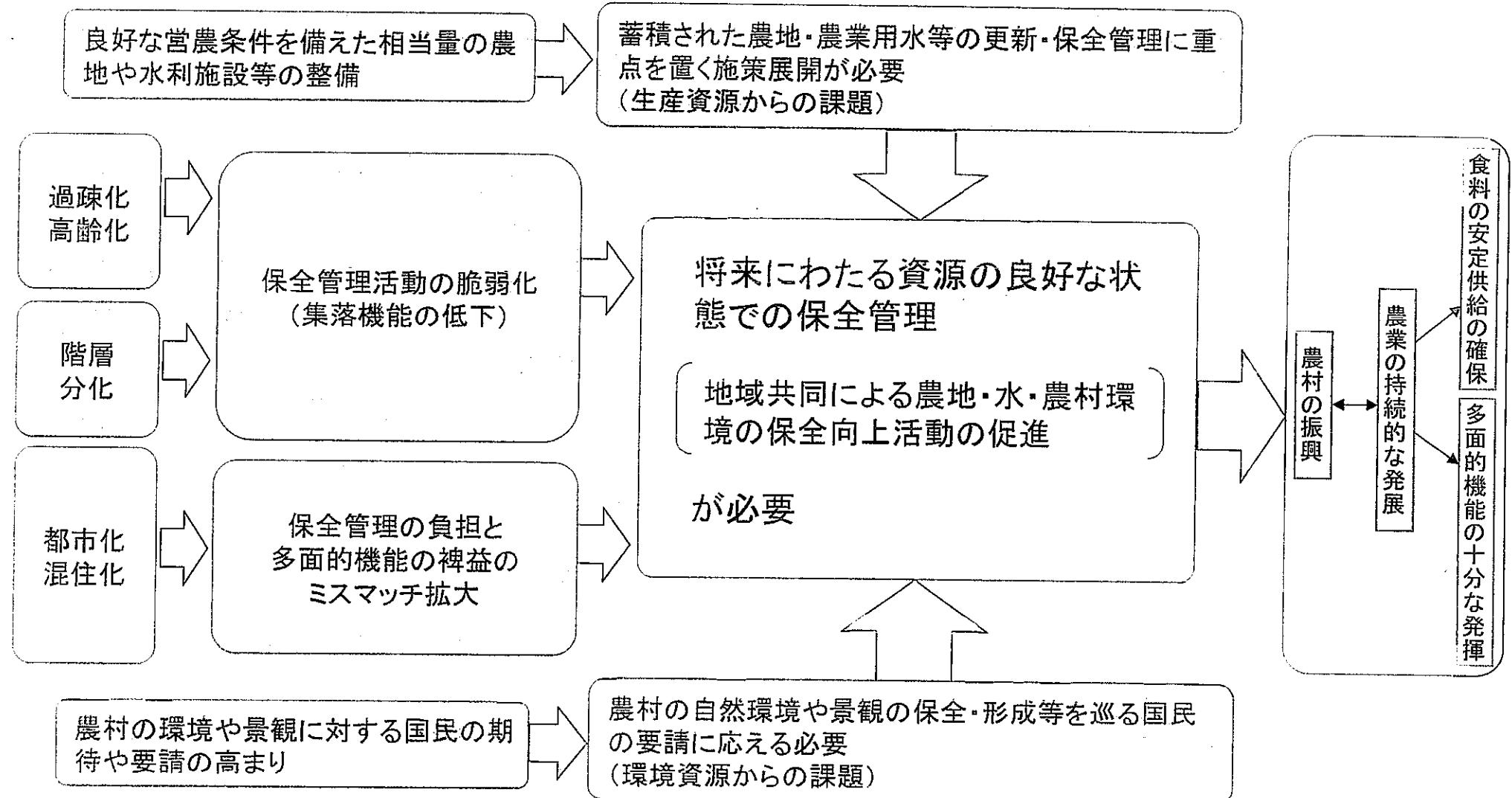
点検



補修

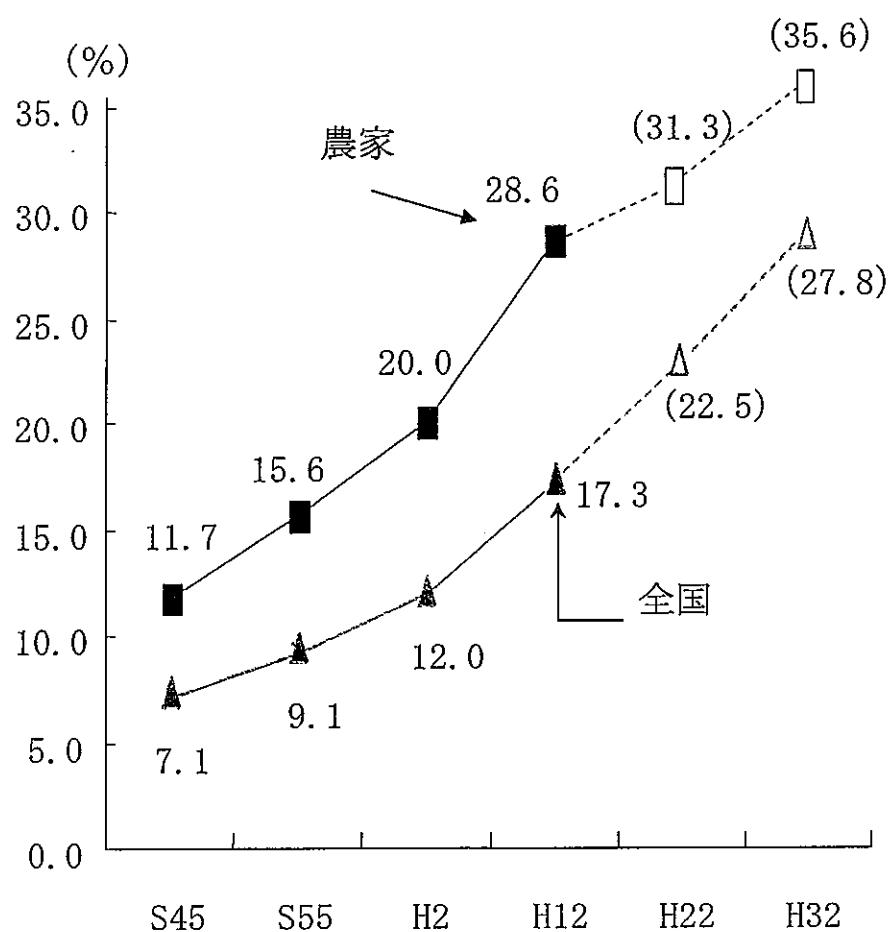


現状と課題

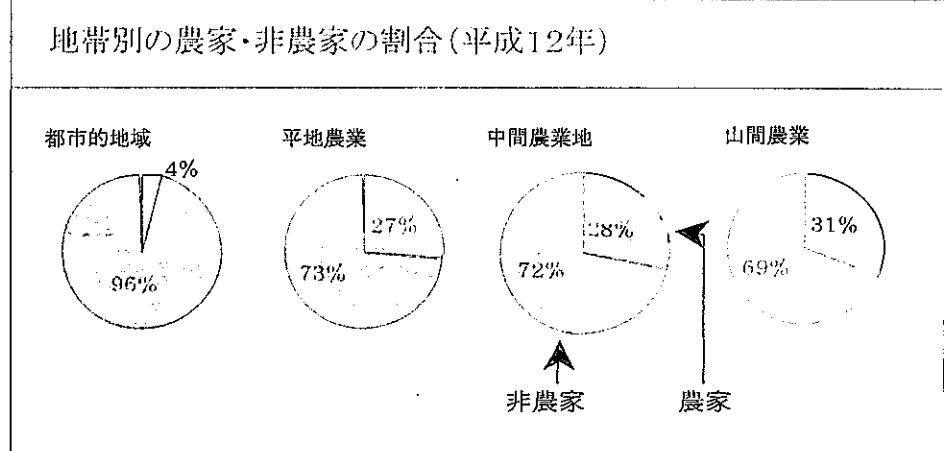
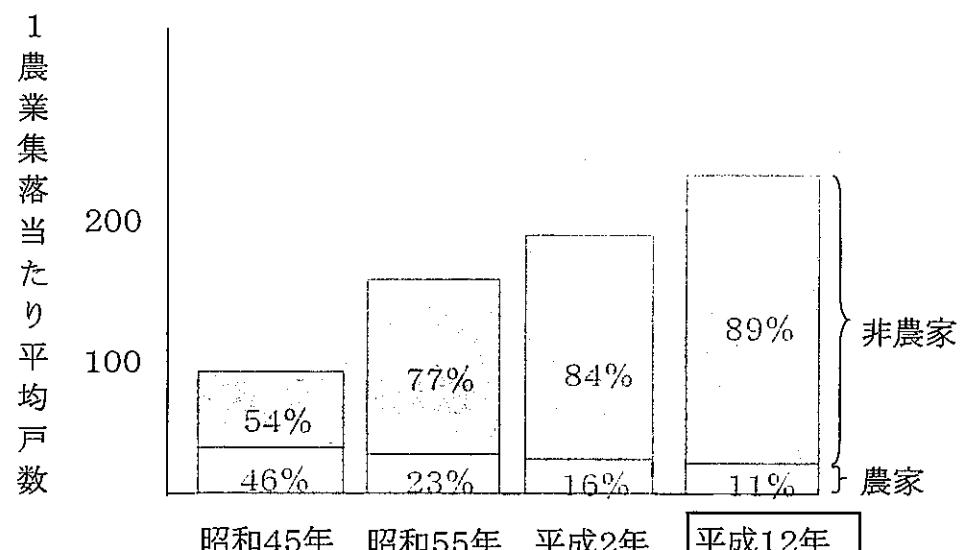


農村地域の高齢化・混住化

○高齢者(65歳以上)割合の推移



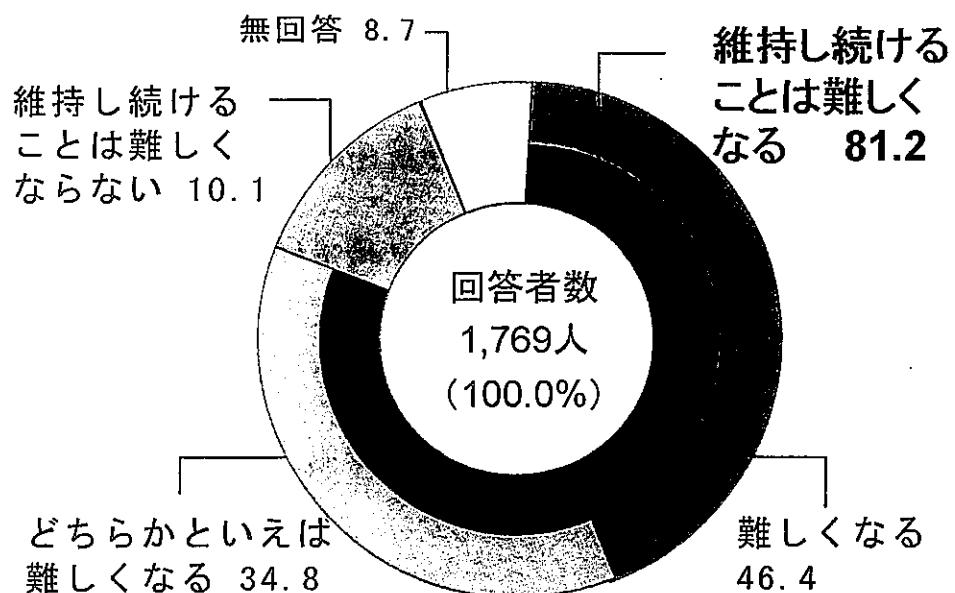
○農業集落の農家と非農家の割合の推移



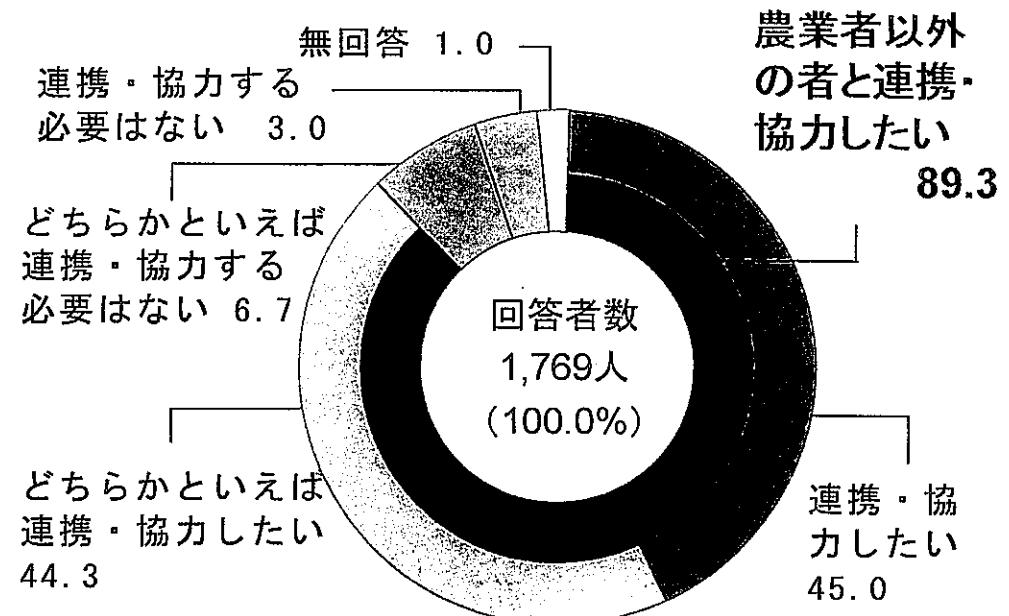
資料：農業センサス

農家の不安（地域資源に関する意向調査）

○将来にわたる農村資源の維持に関する意識



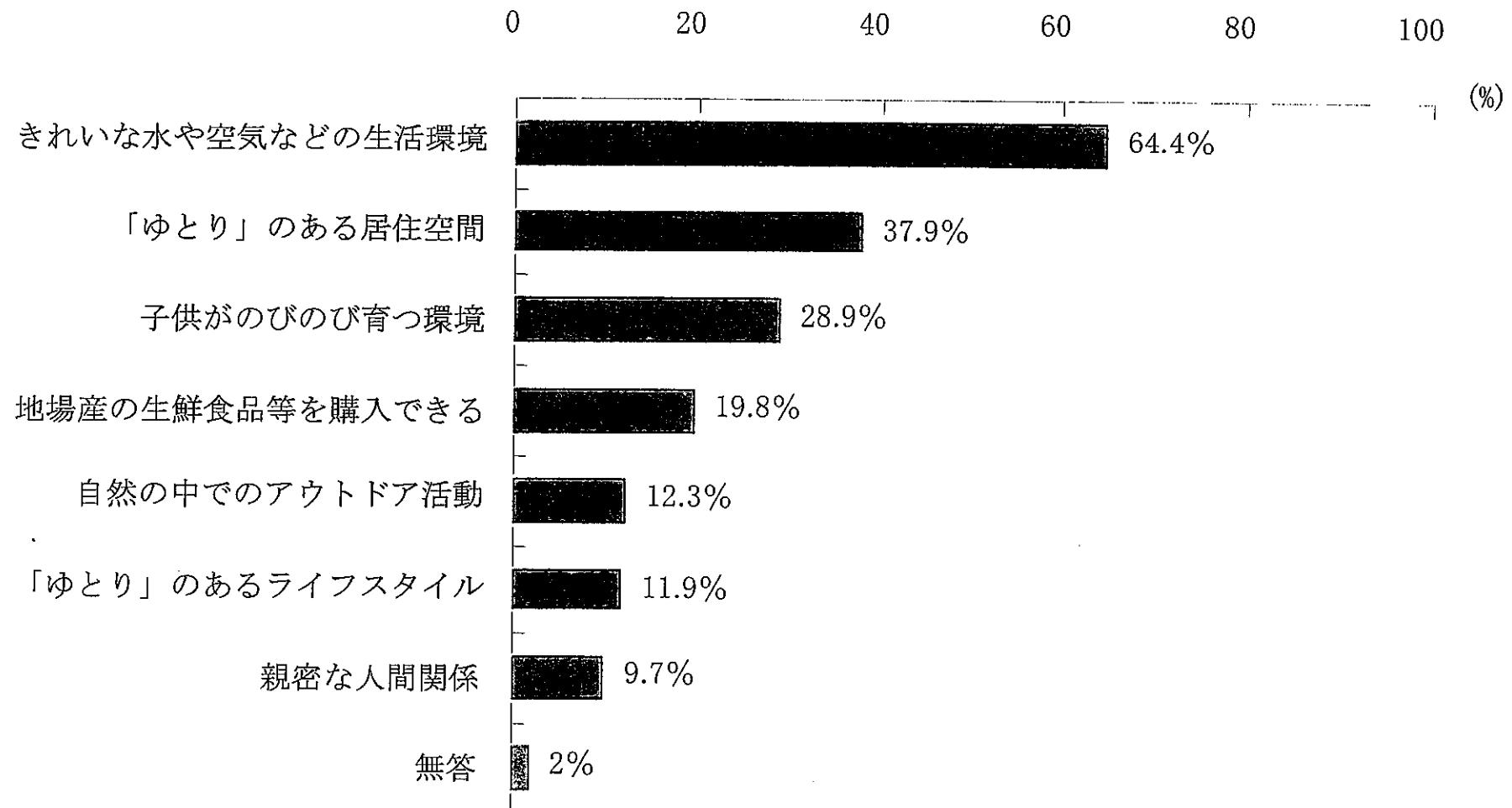
○農業者以外の者との連携・協力に関する意向



(農村の地域資源の維持管理に関する農家の意向調査(H17.2月農林水産省)より)

農村環境に対する国民の要請への対応

○都市住民が感じる農村の魅力



資料：日本農業研究所「都市と農村の共生・対流等に関する
都市住民及び農業者意向調査」(H14年)

注：関東1都3県の都市部に在住する住民1,500人へのアンケート調査結果

食料・農業・農村基本計画から大綱決定に至る経過

年 月	項 目
11年7月	食料・農業・農村基本法制定 (cf.旧農業基本法(S.36)) 基本理念は、①食料の安定供給の確保 ②多面的機能の発揮 ③農業の持続的な発展 ④農村の振興
12年3月	食料・農業・農村基本計画（閣議決定）
15年8月	基本計画の見直しにつき農水大臣から指示 主要3課題として ①担い手の経営に着目した品目横断的な政策への移行 ②担い手・農地制度の改革 ③地域資源・環境保全政策の確立 について、本格的な検討に取り組むよう指示
12月	食料・農業・農村政策審議会<基本計画変更について諮問>
16年8月10日	食料・農業・農村政策審議会 主要3課題についての中間論点整理
17年3月 9日	食料・農業・農村政策審議会<基本計画変更について答申>
3月25日	新たな「食料・農業・農村基本計画」閣議決定
10月27日	「経営所得安定対策等大綱」（省議決定） ①品目横断的経営安定対策 ②米政策改革推進対策 ③農地・水・環境保全向上対策 の骨格

経営所得安定対策等大綱

(平成17年10月決定)

米政策改革推進対策

- 品目横断的経営安定対策の導入に伴い、また、H19年産から生産者・生産者団体が主役となる新たな需給調整システムへの移行を目指すことを踏まえ、米の生産調整支援策(現行対策H16~18)を見直し・再編整理。

品目横断的政策

- これまで全農家を対象とし、品目別の価格に着目して講じてきた対策を、担い手に対象を絞り、経営全体に着目した対策に転換。
- 諸外国との生産条件格差是正対策と収入の変動による影響緩和対策
- 望ましい農業構造の確立と国際競争力の強化

資源・環境対策

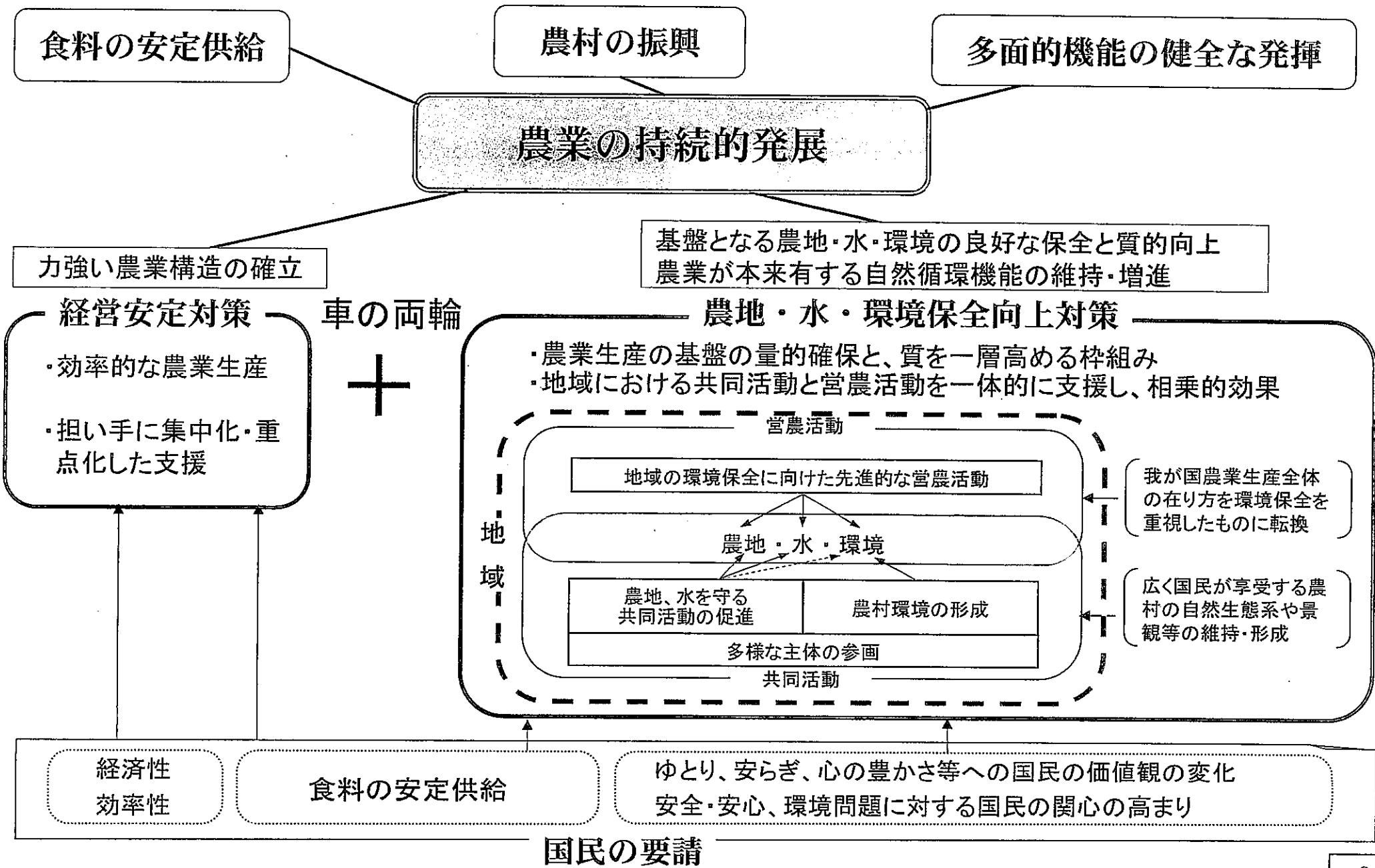
- 農地・農業用水等の資源を保全向上する対策と化学肥料・農薬の使用を大幅に低減する農業生産環境対策を一體的に推進。

表裏一体

車の両輪

平成19年産(又は19年度)から導入

施策の位置付け

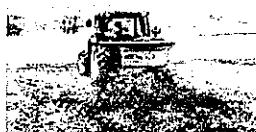


施策の枠組み

- 地域において農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図るため、
 - ①農地・農業用水等の保全向上に関する地域ぐるみでの効果の高い共同活動
 - ②農業者ぐるみでの環境保全に向けた先進的な営農活動
 - ③これらの活動の質をさらにステップアップさせるための取組

をともに協定に位置付け、多様な主体の参画を得てこれらを総合的・一体的に実施する活動を支援。

■ 土づくり、
化学肥料・農薬の低減



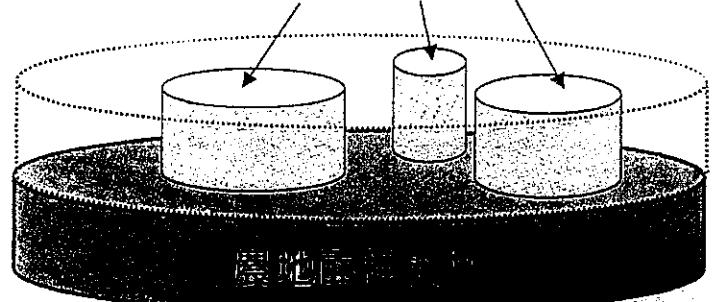
営農活動への支援

農業が本来有する自然循環機能の維持・増進による
地域の環境保全に向けた先進的な営農活動を支援

■ アイガモ農法



取組面積に応じた支払
+集落等を単位とする支援



活動の質をさらに
ステップアップ
させるための
取組への支援

地域においてより高度な
取組を実践した場合に支援
※H18年度において検討

協定へ位置付け

多様な主体の参加を得て
総合的・一体的に実施

共同活動への支援

農地・水・農村環境の保全と質的向上のための
効果の高い共同活動を支援



施策の仕組みのあらまし(共同活動への支援＝資源保全施策)

1

- ・対象地域の設定
- ・活動組織づくり

2

- ・活動計画づくりと
効果の高い取組の実践

3

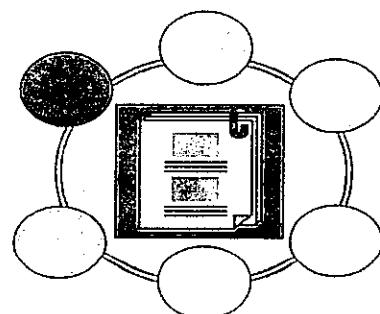
- ・地域共同活動
に対する支援

- 集落などを単位とする活動組織を設立。
- 活動組織は、農業者を中心に地域住民をはじめとする多様な主体が参画。
- 運営方法など合意形成し、規約を作成。

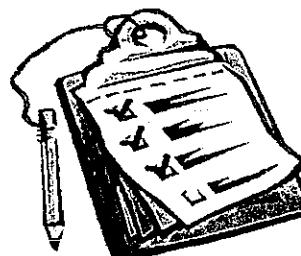
- 活動組織が話し合い、活動計画を作成。
- 活動計画は、効果の高い取組のガイドラインとなる活動指針に照らして作成。
（活動指針は、国が標準的な指針を示し、地方が地域の特性を踏まえた独自の活動項目を追加したもの）
- 活動計画に基づいて、効果の高い取組（現状の維持にとどまらず改善や質的向上を図るもの）を実践。

- 効果の高い取組を行う活動組織を支援。
- 国の支援水準は、農地・水を保全する基準的な共同活動量を基に算定。
〔全国調査を基礎に算定〕
- 活動組織内の農地面積に応じて交付。

活動組織づくり・合意形成



活動指針に照らした活動計画づくり



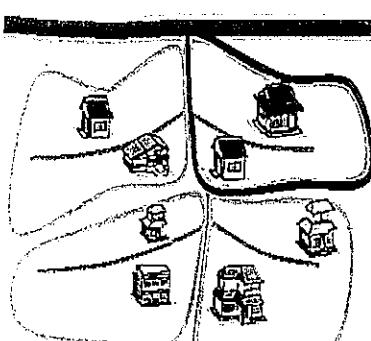
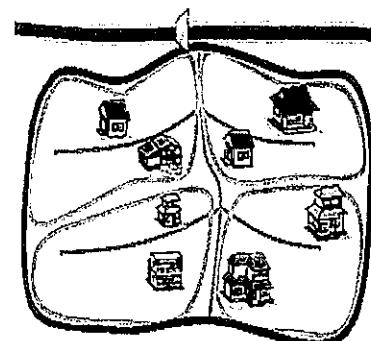
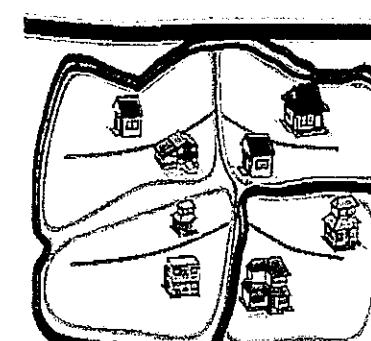
効果の高い取組の実践に対する支援



対象地域の設定と活動組織

- 対象地域は、地域共同活動が効果的に実施できるよう、集落や水系単位など地域の実情に応じ適切に設定。
- 「活動組織」の構成員は、農業者を中心として、地域の諸条件に応じさまざまに組合せ。

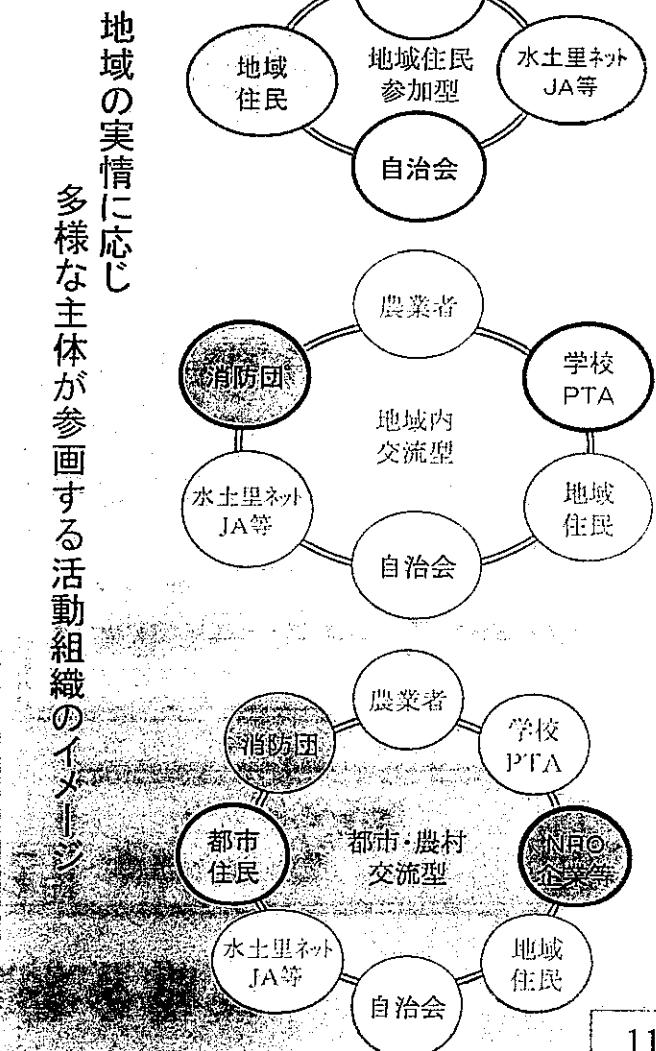
○ 対象地域設定単位の代表例

集落単位	水系単位	事業単位
		

集落ぐるみで保全活動を行う体制

ため池や堰などの水系での保全活動を行う体制

ほ場整備事業などの事業実施単位での保全活動を行う体制



活動指針のイメージ

- 活動計画づくりのガイドラインとして、具体的な活動を列挙した「活動指針」を策定。
- 活動指針は、「基礎部分」と「誘導部分」に区分。
- 国が標準的な指針を示し、地方が地域の特性を踏まえた独自の項目を追加。

活動指針に列挙する活動の例示



(参考)活動指針に位置付ける活動項目の構成イメージ(水田の例)

区分	活動区分	具体的活動項目				
		農地	開水路	パイプライン	ため池	農道
基礎部分	点検活動	<input type="checkbox"/> 遊休農地の発生状況の把握	<input type="checkbox"/> 施設の点検	<input type="checkbox"/> 施設の点検	<input type="checkbox"/> 施設の点検	<input type="checkbox"/> 施設の点検
	計画策定	<input type="checkbox"/> 共同作業計画の策定	<input type="checkbox"/> 共同作業計画の策定	<input type="checkbox"/> 共同作業計画の策定	<input type="checkbox"/> 共同作業計画の策定	<input type="checkbox"/> 共同作業計画の策定
	維持保全活動	<input type="checkbox"/> 畦畔・法面の草刈り <input type="checkbox"/> 草の適正処理 <input type="checkbox"/> 耕作放棄地発生防止のための管理	<input type="checkbox"/> 配水操作 <input type="checkbox"/> 水路の草刈り <input type="checkbox"/> 草の適正処理 <input type="checkbox"/> 水路の泥上げ <input type="checkbox"/> 泥上げ土砂の適正処理	<input type="checkbox"/> 配水操作 <input type="checkbox"/> アーバンソリ等の草刈り <input type="checkbox"/> 草の適正処理 <input type="checkbox"/> ポンプ等の泥上げ <input type="checkbox"/> 泥上げ土砂の適正処理 <input type="checkbox"/> かんがい期前の注油(弁等)	<input type="checkbox"/> 定期的な見回り <input type="checkbox"/> 配水操作 <input type="checkbox"/> ため池の草刈り <input type="checkbox"/> 草の適正処理 <input type="checkbox"/> ため池の泥上げ <input type="checkbox"/> 管理道路管理 <input type="checkbox"/> 泥上げ土砂の適正処理 <input type="checkbox"/> 灌漑期前の施設清掃・除塵	<input type="checkbox"/> 砂利の補充 <input type="checkbox"/> 路肩の草刈り <input type="checkbox"/> 草の適正処理 <input type="checkbox"/> 側溝の泥上げ <input type="checkbox"/> 泥上げ土砂の適正処理

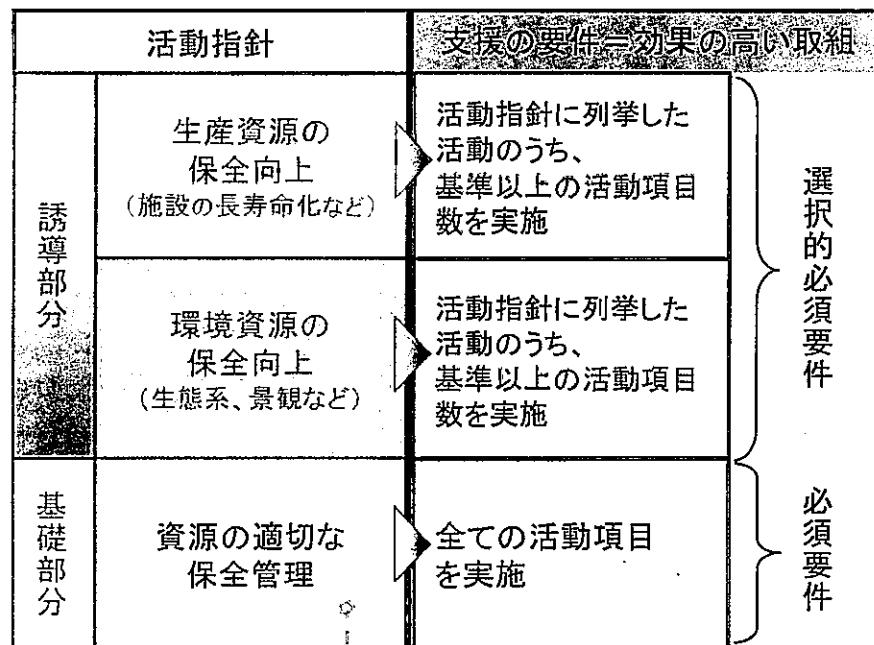
区分	活動区分	具体的活動項目				
		農地	開水路	パイプライン	ため池	農道
誘導部分	機能診断	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断 <input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断 <input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断 <input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断 <input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理	<input type="checkbox"/> 施設の機能診断 <input type="checkbox"/> 診断結果の記録管理
	計画策定	<input type="checkbox"/> 年度活動計画の策定	<input type="checkbox"/> 年度活動計画の策定	<input type="checkbox"/> 年度活動計画の策定	<input type="checkbox"/> 年度活動計画の策定	<input type="checkbox"/> 年度活動計画の策定
	保全向上活動	<input type="checkbox"/> 農地法面の水みちの初期補修 <input type="checkbox"/> 暗渠施設の清掃 ⋮ ⋮	<input type="checkbox"/> 水路のはらみの修正や裏込材の重点 <input type="checkbox"/> ゲート類等の保守管理の徹底 ⋮ ⋮	<input type="checkbox"/> パイプ内の清掃 <input type="checkbox"/> 空気弁等への腐食防止剤の塗布等 ⋮ ⋮	<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の目地詰め <input type="checkbox"/> 水抜きによる点検・補修 <input type="checkbox"/> 地震後の総点検 ⋮ ⋮	<input type="checkbox"/> 側溝の目地詰め(目地の草抜き含む) <input type="checkbox"/> 路肩・法面の水みちの初期補修 ⋮

区分	活動区分	具体的活動項目				
		生態系保全	水質保全	景観形成・生活環境保全	洪水防止・地下水かん養	資源循環
誘導部分	計画策定	<input type="checkbox"/> 生態系保全計画の策定	<input type="checkbox"/> 水質保全計画の策定	<input type="checkbox"/> 景観形成・生活環境保全計画の策定	<input type="checkbox"/> 洪水防止・地下水かん養に係る地域計画の策定	<input type="checkbox"/> 資源循環に係る地域計画の策定
	啓発普及	<input type="checkbox"/> 有識者との連携 <input type="checkbox"/> 看板等の設置	<input type="checkbox"/> 田園環境整備マスターplanへの関与 <input type="checkbox"/> 学校教育等との連携	<input type="checkbox"/> 既設取組団体との連携 <input type="checkbox"/> 地域内での規制等の取り決め	<input type="checkbox"/> パンフレット等の作成・頒布	
	実践活動	<input type="checkbox"/> 保全対象種特定の為の勉強会 <input type="checkbox"/> 特定外来種の駆除に対する地域理解 ⋮ ⋮	<input type="checkbox"/> 水質保全に関する勉強会 <input type="checkbox"/> 化学肥料を減らした栽培推進の地域取り決め配慮	<input type="checkbox"/> 農村景観に関する勉強会 <input type="checkbox"/> 地域住民等との交流活動 ⋮ ⋮	<input type="checkbox"/> 洪水防止・地下水涵養に関する勉強会 <input type="checkbox"/> 上下流域間の連携 ⋮ ⋮	<input type="checkbox"/> 資源循環に関する勉強会 ⋮

支援水準

- 活動指針を指標として、効果の高い取組に相当する活動を行う地域を支援。
- 支援水準は、農地・水等の資源を適切に保全管理するために必要な基準的な共同活動量を基に、国、地方、農業者の役割分担を踏まえて算定。
(共同活動量については、現在、全国約400地区で実施中の調査において、全国の地帯別、地目別の状況を精査中。)
- 活動組織内の農地面積に応じて交付。

支援の要件と支援水準の基礎

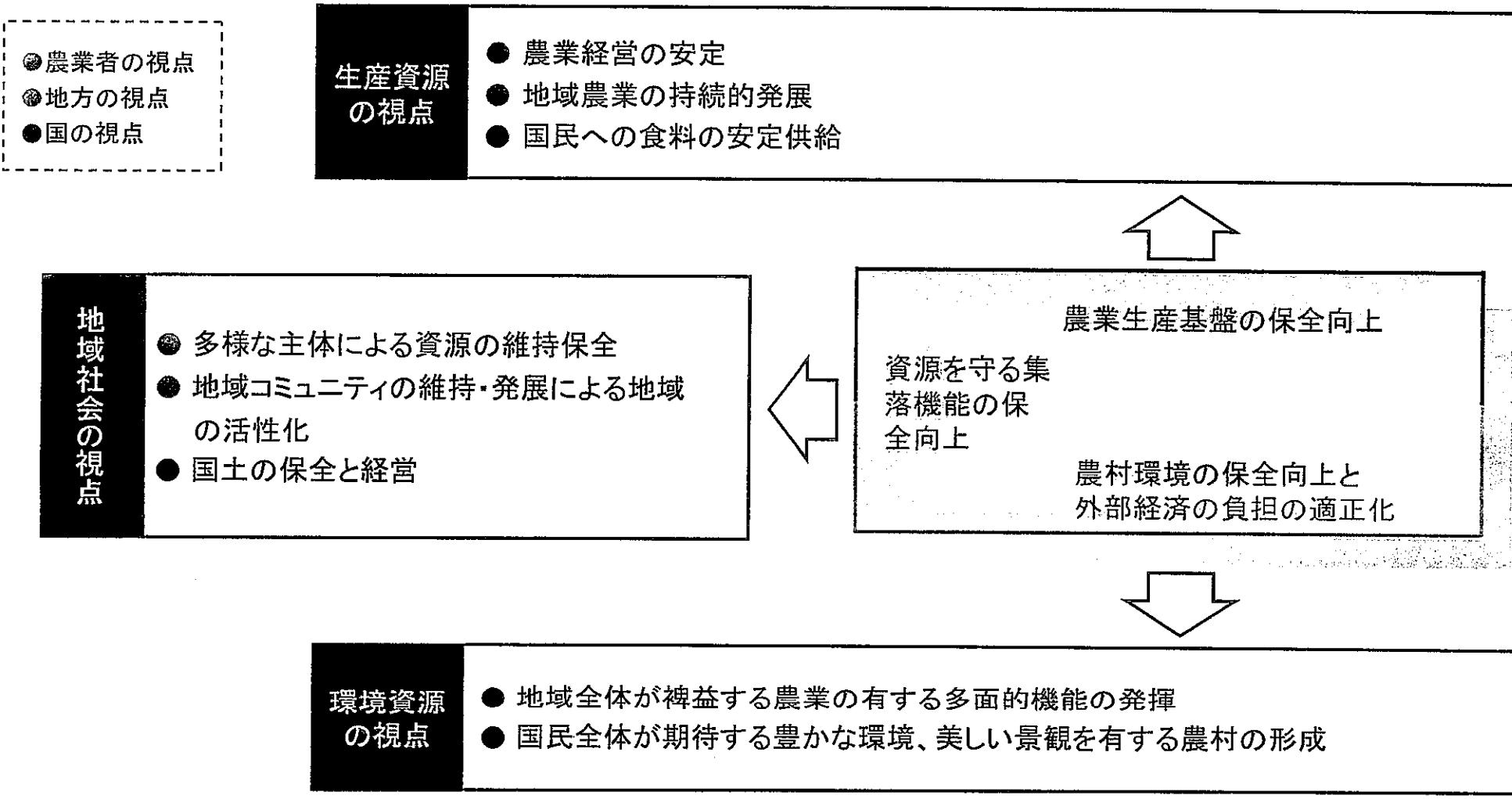


支 援 の 水 準

	10a当たり単価 (国の支援分)	10a当たり単価 (国と地方の合計)
水田(都府県)	2,200円/10a	4,400円/10a
水田(北海道)	1,700円/10a	3,400円/10a
畑(都府県)	1,400円/10a	2,800円/10a
畑(北海道)	600円/10a	1,200円/10a
草地(都府県)	200円/10a	400円/10a
草地(北海道)	100円/10a	200円/10a

国、地方、農業者の役割分担と国の責務

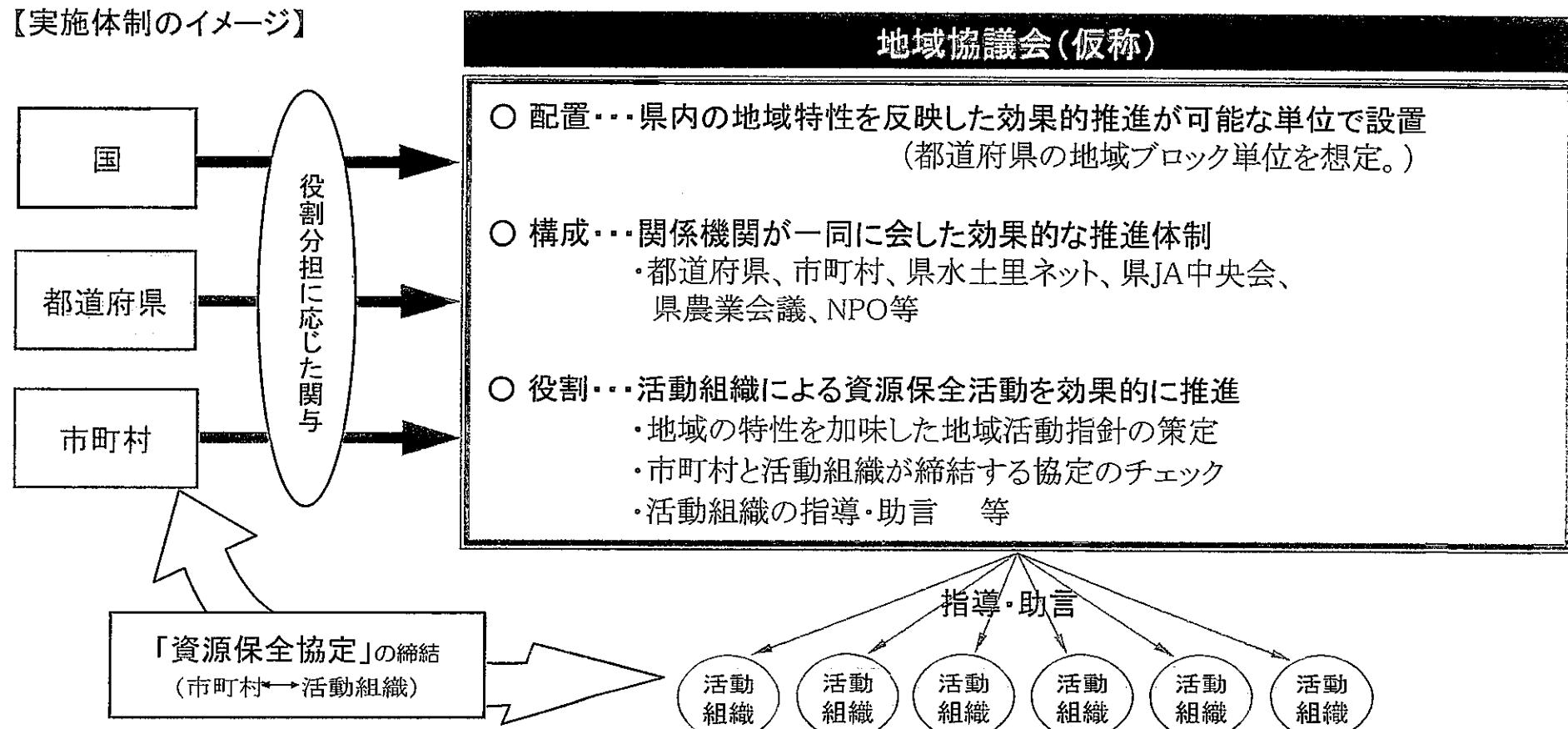
- 資源保全の取組は、国、地方、農業者それぞれに利益をもたらすものであり、応分の役割分担が必要。



役割分担に基づく実施体制

- 地域ごとに多様性を有する資源保全の取組の特質を踏まえ、活動組織が行う資源保全向上活動を効果的に指導・助言するための仕組が必要。
- このため、都道府県内の地域ブロックごとに、地域協議会(仮称)を設置。
- 国、都道府県、市町村は、役割分担を踏まえ地域協議会を適切に指導・助言

【実施体制のイメージ】



宮農活動に対する支援

① 対象地域、対象とする活動

- 対象地域は、「共同活動への支援」の実施地域であって、計画に基づき環境保全に取り組む地域。
- 対象とする活動は、集落等を単位として、
 - ・ 環境負荷低減に向けた取組を共同で行った上で、
 - ・ 地域で相当程度のまとまりをもって、持続性の高い農業生産方式の導入により、化学肥料や化学合成農薬の使用を大幅に低減する等の先進的な取組

○支援対象とする活動

